

すてきな暮らし



【発行・編集】「すてきな暮らし」編集部 伊丹市立消費生活センター 伊丹市宮ノ前2-2-2
電話：072-772-0261 / 072-775-1298(相談) FAX：072-775-3811
【題字・カット】林 やよい

メールマガジンを配信しています

相談事例や悪質商法の対処法、イベント案内など、暮らしに役立つ情報をお届けしています。itami@emp.ikkr.jp または右のQRコードを読み取り、空メールを送信してください。その後メールが返信されますので、案内にそって登録してください。



あらためて防災を考えよう～いつかくるその時のために今できること～

昨年、私たちが住む伊丹市は相次いで大きな災害に見舞われ、交通の要である電車やバスが運休したり数日にわたって電気が止まったりと、市民生活にも大きな影響がありました。

24年前に阪神・淡路大震災を経験し、さらに今後30年以内に南海トラフ巨大地震が高い確率で起こると言われている伊丹市に住む私たちにとって、防災対策は最重要課題です。被害を100%防ぐことはできませんが、日頃から災害が起きた時を想定して対策することで被害を最小限にすることができます。今回は、伊丹市の災害対策や最新の防災、減災対策について、伊丹市防災センター内にある危機管理室にお話を伺いました。

その時、伊丹はどうだった？

▶大阪北部地震

2018(平成30)年6月18日7時58分、大阪府北部を震源地とした最大震度6弱の地震(M6.1)が発生。伊丹市は震度5弱でした。市役所では本庁舎の天井パネルの一部が落下しました。鉄道各社では安全確認などのため運転見合わせが続き、運転再開に時間を要しました。



▶台風21号

2018(平成30)年9月4日14時ごろ、台風21号は「非常に強い勢力」を保ったまま神戸市付近に上陸。市内でも最大瞬間風速42.9m(15時ごろ)を観測。電線の断線などにより各地で停電が発生し、復旧までに長時間を要しました。

南海トラフ巨大地震について

西日本の太平洋沖を震源とする巨大地震は、100年から150年間隔で繰り返し発生しています。東海地震、東南海地震、南海地震が連動した、いわゆる南海トラフ巨大地震が、今後30年間に起こる確率は70～80%と予測されています。伊丹市の震度は、震度6弱(阪神・淡路大震災時の震度は推定6)と予想されています。地域によっては大津波の発生も心配されていますが、現在のところ伊丹市では津波の心配はないだろうと言われています。南海トラフ巨大地震のような日本近海のプレート境界で起こる「海溝型地震」の場合、被害が広範囲に及ぶことが予想され、他の地域からの支援が難しくなると言われています。ますます一人一人の対策が重要となります。

	阪神・淡路大震災 1995(平成7)年 1.17	南海トラフ巨大地震 (最大クラスの想定)
特徴	【直下型地震】人口が密集した阪神間地域における局所的な被害	【海溝型地震】関東から九州地方において津波による広範囲な被害
マグニチュード	M7.3	M9
最大震度	7(伊丹市は推定6)	7(伊丹市は6弱)
死者	6,434人	最大23万1,000人

災害に備える

▶ 家の中を安全に保つ

家具が倒れないように転倒防止対策をとる。

できるだけ寝室には低い家具を置くようにする。

家具の少ない部屋をつくる。(※)

ガラス扉には飛散防止フィルムを貼る。

(※)いざという時に家族が安全に集まることが出来るスペースの確保

ワンポイント😊

手の届くところに、懐中電灯や靴、ホイッスルを用意しておきましょう。特にホイッスルは、救助を求める際に役に立ちます。

▶ それぞれの家庭に合った備蓄品を用意する

・備蓄品(非常持ち出し品を含む)の例

☐	携帯ラジオ	FM付きがよい 予備電池など
☐	照明器具	懐中電灯、予備電池、ランタン、ろうそく、ライター、マッチなど
☐	飲料水・非常食	飲料水、ごはん(アルファ米など)、乾パン、缶詰、板チョコ、ビスケットなど3～7日分
☐	道具類	カセットコンロ、ガスボンベ、缶切り、栓抜き、ナイフ、割りばし、ロープ、ビニールシート、モバイルバッテリー(手回しやソーラータイプなど)、食品用ラップ、ビニール袋など
☐	救急・衛生用品	常備薬(お薬手帳)、消毒液、傷薬、ばんそうこう、石けん、生理用品、包帯、マスク、非常用トイレセットなど
☐	現金・貴重品	現金、通帳、印鑑、健康保険証や免許証のコピー
☐	衣類	下着、セーター、ジャンパー、防災頭巾やヘルメット、軍手、雨がっぱなど
☐	伊丹市防災マップ & 市民べんり帳 (市役所や各支所・分室で入手可能)	家族や知人の連絡先をメモしておく

災害が起きたら

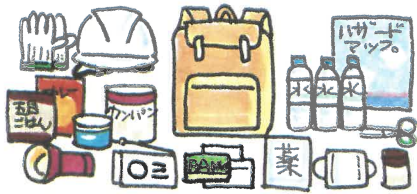
▶ まずは身を守る。そして避難

- ・緊急地震速報が鳴ったら、もしくは、小さな揺れを感じたら、慌てず、落ち着いて、速やかに安全な場所に避難する。
- ・慌てて外に飛び出さない。
- ・可能であれば火の始末をするが、火元から離れている場合や大きく揺れている最中は無理に火元に近づかない。
- ・商業施設にいる場合は、係員の指示に従う。慌てて出口や階段などに殺到しない。ガラス製の陳列棚や吊り下がっている照明などの近くから離れる。
- ・エレベーター内にいるときは、最寄りの階に停止させ速やかにエレベーターから降りる。
- ・自動車を運転中は周囲を確認しながら道路左側に停車させる。エンジンを止め揺れが収まったら、ドアをロックせずキーをつけたまま安全な場所に避難する。
- ・避難は徒歩が基本。車は使わない。
- ・大雨時に避難が遅れた場合は、無理に避難せず自宅の2階以上に避難し様子を見る。

▶ 情報を受け取る

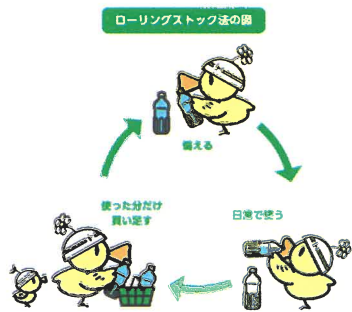
災害時は正しい情報を入手しましょう。

伊丹市の災害時情報伝達体制	
屋外拡声器	屋外にいる人への注意喚起 (市内28か所に設置)
IP告知放送	屋内にいる人への注意喚起 (市役所、市立学校に設置)
エフエムいたみ (79.4MHz)	災害時は割込みで緊急情報を放送。緊急告知FMラジオ(*1)
伊丹市緊急 災害情報メール	風水害情報や避難情報、震度4以上の地震が発生した時などの情報をメールでお知らせ。 要事前登録(*2)
伊丹市気象情報 サイト	伊丹市のホームページに特設サイトを開設。市全域のより細やかな気象情報、河川の水位情報など。



- * 定期的に備蓄品(非常持ち出し品を含む)をチェックする
- * 乳幼児のいる家庭では、ミルクや哺乳瓶、紙おむつを用意しておく
- * トイレ用などのために、水道水をポリタンクに貯めておいたり、風呂水を捨てずにとっておいたりする

【ローリングストック法のススメ】



(イラスト出典元:
『日本気象協会推進
「トクする!防災」
プロジェクト」)

長期保存できる食料は便利だが、賞味期限を切らしてしまいがち。日頃から少し多めに食料を購入し、古いものから順に消費、その分を新たに補充していく「ローリングストック法」を実行する。

ポイント!

- ①古いものから使う。
- ②使ったら補充する。

▶家族で安否確認の方法を決めておく

- ・自分の住んでいる地域の指定緊急避難場所・指定避難所の場所を、「伊丹市防災マップ&市民べんり帳」で確認しておく。
- ・日頃から家族で、連絡方法や、避難場所を決めておく。
- ・災害時は携帯電話がつながりにくくなるため、安否確認や緊急連絡に「災害用伝言ダイヤル171」や携帯電話の「災害伝言ダイヤル」を利用する。

▶日頃から地域の人とコミュニケーションを

阪神・淡路大震災で家の下敷きになった人の多くは、家族や近所の人に救出されました。行政機関の支援には限界があり、特に大災害時にはご近所の助け合いが欠かせません。日頃から近所の人と声掛けをするなどして、コミュニケーションをとっておくことが重要です。また、地域の自治会等が行っている参加型の防災訓練などにも積極的に参加しましょう。

【災害時要援護者避難支援制度】

災害発生初期に、災害時要援護者(地域にいる自力での避難が困難な人)の安否確認や初期避難について、地域住民の皆さんで助け合っていただく制度です。要援護者1人に、地域住民の中から支援協力員2人以上をあらかじめ決めておき、災害時に声掛けをしたり、避難所まで一緒に避難したりする仕組みです。この仕組みは、あくまでも地域の助け合いで、支援協力員に責任を課すものではありません。

災害時に、避難などの災害に関する正確な情報をいち早く入手してもらうために、制度に申し込まれた要援護者・支援協力員に対して、緊急告知FMラジオを無償貸与します。

(※1)避難勧告や避難指示(緊急)などの災害情報に関する緊急放送時には、電源がオフになっていても自動的に起動し、大音量で放送を聞くことができます。また、その際はライトが点灯します。停電時などの暗闇で、ライトとして利用できます。ラジオの受信局は「エフエムいたみ」のみです。

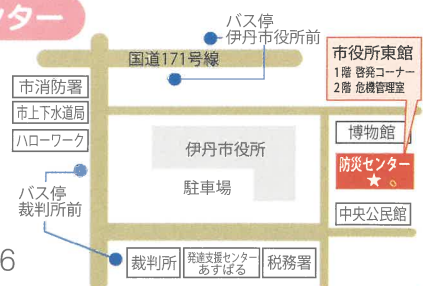
(※2)伊丹市緊急災害情報メールの登録方法
itami@emp.ikkr.jpに空メールを送信し、登録手続きを行ってください。(ドメイン指定受信や拒否設定などの受信制限をしている場合は、itami-mm@city.itami.lg.jpを事前に受信できるようにしておいてください)

QRコード対応機種の場合、右のQRコードを読み取ればアドレスの入力は不要です。



伊丹市防災センター

防災グッズなどの展示を行っており見学も可能です。
〒664-8503
伊丹市千僧1-1
Tel:072-784-8166



まとめ どんなに準備をしても、非常時は誰もが慌てるものです。災害が起こった時に少しでも落ち着いて行動するためには、その時を想像して準備することが大切だと感じました。例えば、非常食を調理して食べてみる、避難場所まで歩いてみる、災害時の安否確認方法を試してみる、地域の防災活動に参加してみるなど、実際にやっておくことで漠然とした不安が少しは解消されるかもしれません。もしもの時に自分や家族、地域の人たちの身を守るために、いま一度防災について考えてみませんか。

【お詫び】紙面の都合上、「FPナンシーのお金のはなし」は、今号では割愛し、次号に掲載させていただきます。



スマートフォンやパソコンから、インターネットなどを経由して気軽に遊ぶことができるオンラインゲーム。ついつい長い時間利用してしまいがちですが、ゲームの仕組みや利用条件を十分に理解していないと、思わぬトラブルに巻き込まれます。手軽に始められる無料のゲームが、いつの間にか有料のサービスを利用していたり、親が知らない間に子どもが高額課金していたりすることがあります。オンラインゲームの課金トラブルは、年々、低年齢化・高額化しています。

子どものオンラインゲームトラブル！ 親が知らない間に課金して高額請求に！

事例

クレジットカード会社から「引き落としができない」とメールが届いた。驚いて明細を確認すると、携帯電話会社からの請求が約25万円と高額になっており、小学生の息子がスマホのゲームでアイテムを購入していたことがわかった。(30代男性)

消費生活センターからアドバイス

親の同意を得ないで高額な契約をしていることから、法律による未成年者契約の取り消しができると考えられます。プラットフォーム事業者(*)に申し出てみるようにと助言しました。

(*) スマホゲームにおいて、Androidの場合はGoogle社運営のGooglePlay、iPhoneの場合はApple社運営のAppstore。

【未成年者契約の取消しとは？】

未成年者が法定代理人(親権者等)の同意を得ずに、小遣いの範囲を超える契約をした場合は、原則として、契約を取り消すことができます。しかし、成人であると嘘をついたり、法定代理人の同意を得ていると偽ったりした場合は、取り消すことができません。

● オンラインゲームでは、実際に未成年者が利用したことの証明が難しいことや、すでに購入したゲームやアイテムを利用していることなどから、必ずしも契約の取消しに応じてもらえるとはかぎりません。

【なぜ、親のクレジットカードで買い物ができたの？】

事例の場合は、家族全員の携帯電話利用料金を父親のクレジットカードで支払うために、クレジットカード情報を登録していました。登録時にパスワードを設定していなかったため、一度登録をしたクレジットカード情報により、子どもは何もしなくてもアイテムの購入が可能となりました。

他にも、親や祖父母の財布などから勝手にクレジットカード番号などの情報を得て、支払い手続きをしていたという事例もあります。

● 一般的なクレジットカードの会員規約では、カードを本人以外の人に貸したり、使用させたりすることを禁止し、適切に管理しなければならないと規定されています。そのため、所有者の管理責任を問われる可能性もあります。

【その他のトラブル事例】

- 6歳の娘に解約した母親のスマホを持たせて、Wi-Fi環境下で無料ゲームができるようにしていたところ、複数のゲーム会社から総額10万円を請求された。解約したスマホなので課金はできないと思っていた。
- 「100円なら」と小学生の息子にアイテムを買う際に、親がクレジットカード番号を入力した。そのままゲームサイトにカード情報が登録されたため、その後も息子が繰り返しアイテムを買い続け、高額な請求書が届いた。

【トラブルを防ぐために】

- ・ 子どもが利用する機器やゲームの仕組みなどを理解し、保護者が利用を制限する機能を活用する。
- ・ 課金する場合は、「プリペイド式のカードを利用する」「必ず保護者に相談する」など、ルールを決める。
- ・ 過去に入力したクレジットカード情報がそのまま利用可能になっていないか確認する。
- ・ クレジットカードは、子どもの目につかない場所に保管する。
- ・ クレジットカードや携帯電話会社からの利用明細は、毎月必ず確認する。